

いわき民報 社報民きわい 日一十月二年二十二和昭 (可認物便郵種三第)

木炭の需給対策成る

消費生産及需給委員会結成 適正価格を決定問題解消

資材難や輸送難から木江各、豊間、小名濱、た郡木炭需給委員会を...

先づ適正価格

生産者協議会開き 各山元の生産価格は

各山元平均の生産価格は、各山元平均の生産価格は...

區畫整理委員

戦災復興に重要役割 選挙二十日公會堂

たいら市の戦災復興計が、一月二十日まで...

内科小児科眼科外科 皮膚泌尿器科 富ヶ浦病院 院長 安田善一 電話三十三番

平地區の消費委員

いわき市の木炭需給委員会...

平教育審議會

各部委員も決定

いわき市教育審議會は、二月二十日市で...

公休返上で出超え

輝く主力三大炭鑛の底力

常務炭田二、その他資材難にもか...

急求 女子作業員數名 平市才小路三三 近納信義商店 棒炭工場

製いん實態調査

闇の横流れ防止に 郡の該當十一工場

製いん製糖も一定量の供のものを基準として...

男の双子

湯本町榮田九徳江さん

湯本町榮田九徳江さん(四三)...

辛くも黒字を

きわどかつた東部 主力の減炭たゝる

東部管内が五十三屯出た結果である、逆に各...

いわき民報 社報民きわい 日一十月二年二十二和昭 (可認物便郵種三第)

社員募集

社屋の新築と印刷工場の整備に伴ひ、社...

生徒募集

四月五日、四月六日、四月七日、四月八日...

女子見習工 印刷工員 新聞印刷に経験を有するものの特によ選す

企業相談所を設置

経済復興會議經營者連盟も
漸く活発に會議所活動開始

平商工會議所では四市會議所を中心となつて
會議所連絡會議の結果各勞組等と協同して事
業に基いて變動極ない現業經營者連盟をも設置
從經濟事情に對處する又團結を強固ならしめ
と共に地方經濟の安定を爲る爲に復興會議等
振興するため廣通中をもつ事に決定準備を
小商工業者を始め金融念いでいるお四市會
議労働者の諸問題に關する懇談會をも結成
ついで企業相談所をする段取りとなつた

今月限の 統 組

來月からは商
業協組に更生
統制組合の總合ならび
に業種別協同組合への
移向で戦時中からの卸
統制團體、生活必需品
移向で戦時中からの卸
統制團體、生活必需品
移向で戦時中からの卸
統制團體、生活必需品

野菜増産計画

各種の反別も決定

農業會が城支那では概
七百六十九石に過ぎな
下の消費地を控えてか
つた、佐藤武久二
農産増産計画を樹立、
百五十石、飯沼正秋
農産計劃反別五百九
九十石、岸澤政資四百
三十石と決定、目標二
百七十六萬五千石確保
に拍車をかけることに
なり各種反別を左の如
くきめた(單位反)

- 茄子六〇〇 ● 胡瓜五〇〇 ● 南公八〇〇 ● 大根 五〇〇 ● 大根(漬)七〇〇 ● 白菜四〇〇 ● 人参四三〇 ● 牛蒡三二〇 ● 法連草二〇〇 ● 甘藷二〇〇 ● 里芋一〇〇 ● 燕 〇 ● 雑菜三〇〇 ● 計五十五萬三千反

純文學誌文祭

河内潔士氏が主宰
花の四月期し發刊

純文學の發達を目指し河内潔士氏が今度
郷土文化の發達を目指す河内潔士氏が今度
郷土文化の發達を目指す河内潔士氏が今度
郷土文化の發達を目指す河内潔士氏が今度

住宅に改造を

取締強化
菅野主任談
菅野主任談
菅野主任談

中村弘高公演

大仲順子特別出演
淺草花月劇場
中村弘高とその樂劇團
で一月間演
は十五六の兩日掛屋町

新増産競技會

一月成績平 七位に
石城郡は第 七位に
縣新産組合では舊ら食および坑木の不足貨
う一月十五日から二車の不廻りなどの支障
のたため期間を三月十五
日までに延長した、一
月末日現在における成
績は石城郡七位平市十
位進中であつたが、主四位となつてゐる

分村批判

小名濱第一校で
小名濱町の舊玉川村分
村問題批判演説會は既
報の如く十三日午後六
時より第一國民學校講
堂に藤田瑞穂氏司會の
下に開催、小野(作)金
澤、鈴木の三町議の熱辯
についで樋口連三氏二
十年の収入役生活を通
じての財政の建て方か
らみて分村後の玉川村
に決して餘裕なしとの
数字を擧げて説明最後
に小野氏が分村問題
動に参加せねばならぬ
に至つたかの理由を説
いて盛會もどに閉會し

南富岡は反對

舊玉川の分村問題
小名濱町大字南富岡は
りの方針で進む事に決
定したとある
分村問題に對して大局
的に高處より之を見て
分村すべからずと云ふ
町會の決議は合併當時
の趣旨に會議するもの
ぞと馬目洋町會長は大
字常會を二度に亘つて
開催した結果郡落民一
般の態度を取り現在通

不振極る 坑木増送

去月二十一日から展開
の坑木きん急増送期間
の成績はたいら増送集
計を急いでいたが左の
如くまとまつた、目標
千九百石に對して實際
は四百八十七トン弱
の成績はたいら増送集
計を急いでいたが左の
如くまとまつた、目標
千九百石に對して實際
は四百八十七トン弱
の成績はたいら増送集
計を急いでいたが左の
如くまとまつた、目標
千九百石に對して實際
は四百八十七トン弱

話題の人

放 投書を歓迎
要望批判
多謝
海ならでは夜も日も
の重大性を強調全國民
の存在こそはみな公選
初代町長と据え

力印といへば東北地
起して今日の大をなす
の多難の行路は人
のよき知るところ
なと、徳と親し
なと、徳と親し
なと、徳と親し

美人女給
堂
ツ
マ
下用利御に會宴
さい下用利御に會宴

鏡 門 専 屋 玉
定指醫科眼各
進む文化に守る視力
各種ミシンの
販賣と修理
三浦商會ミシン部
電八四六番

平木工業株式會社
社長 佐藤幸太郎
事務取締役 助重雄
本社 平市新田町二六
電話 四四五七、七七一
東京事務所、東京都芝區新橋
二ノ三(八島橋)九
電話 五七四八、三二
工場電話 三九八三、三五五

安値自信百貨御問屋
さかいや商店
平市六丁目四八番